

【歴史】作問のねらいとする主な「思考力・判断力・表現力」についてのイメージ（素案）

検討中

※試行調査の検証・分析の結果及び高等学校学習指導要領の見直しの内容等を踏まえ、更に整理する。

大学入学 共通テスト において 問いたい 「思考力・ 判断力・ 表現力」	【考察・構想(注)】	【説明】
	●歴史に関わる諸事象等の意味や意義、特色や相互の関連について、概念等を活用して多面的・多角的に考察することができる ●歴史に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想することができる ・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断することができる	●考察したことや構想したことを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる ・学習課題を振り返って結論をまとめることができる ・結論について検証することができる ・新たな問い（課題）を見いだしたり追究したりすることができる ○作問にあたっての場面設定の工夫例 ・歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり議論したりするなどの活動を通して、現代につながる諸課題について自分の意見を形成する場面 ・歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり議論したりする活動を通して、新たな課題を見いだす場面
	資料から読み取った情報と歴史的事象との関わりを類推することができる	考察したことや構想した過程や結果を、理由や根拠に基づいてまとめることができる
	歴史的事象を時系列的にとらえることができる（時系列）	
	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して、歴史的事象の展開について考察することができる（推移や変化）	
	複数の歴史的事象を比較して共通性や差異をとらえることができる（諸事象の比較）	
	諸地域世界の接触や交流などが歴史的事象にどのように作用したのかを明らかにすることができる（事象相互のつながり）	
	背景、原因、結果、影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる（事象相互のつながり）	
	歴史的事象の多面的・多角的な考察を通して、日本や世界の歴史の展開や歴史的な意味や意義をとらえることができる	
	習得した歴史的概念を活用し、現代的課題に応用することができる	

（注）構想については、社会科系科目に見られる課題の解決に向けて、広い視野から構想（選択・判断）することを示している。（参考：『平成28年12月21日中央教育審議会答申』より）

○自由記述では、以下のことを問える可能性がある。

- ・歴史的事象を多面的・多角的に考察して、論理的・効果的に表現することができる
- ・歴史的事象について考察したことを踏まえて、課題の解決に向けた自分の意見を形成して、適切に表現することができる
- ・考察したことや構想したことから、新たな課題を見いだして追究することができる